

非常時の“止まらない”を支えるUPSバッテリーの点検を

～本格的な雷シーズン前に、バッテリーをチェックしましょう～

UPSは非常時に機器やデータを守るための重要な装置です。
その性能を最大限に引き出すには、バッテリーの品質と安定性が欠かせません。

こんなお悩みはありませんか？



バッテリーの
交換時期がわからない

バッテリーの
交換方法がわからない

”互換バッテリー”と
表示するものは見かけるけど、
使用上大丈夫？

バッテリーの
型番がわからない

バッテリーは
どこで買えばいい？

使用済のバッテリーは
どうやって廃棄すれば
いいの？

上記の悩み事を本号で解説していきます！



なぜ純正バッテリー？純正バッテリーを利用するメリット

- 1 確かな信頼性**
厳格な品質管理基準をクリアした純正バッテリーは、突然の障害リスクを最小限にシュナイダーエレクトリック認定の部品で、一貫した性能と期待通りの長寿命を実現
- 2 完璧な互換性**
UPS本体との完全な適合性により、最適な電力供給と正確な残量表示を提供システム全体の安定性を最大化し、予期せぬシャットダウンによるデータ損失を防止
- 3 優れた安全性**
純正品の使用により、発煙・発火などの危険リスクを大幅に低減
厳しい安全基準に適合し、お客様の重要機器を確実に保護
- 4 製品保証の維持**
純正バッテリー使用でUPS本体の保証継続をサポート
純正バッテリーキット自体にも安心の保証付き
- 5 本体への影響 / 製品サポート & バッテリー品質**
非純正バッテリーを使用した場合、シュナイダーエレクトリックのサポートは受けられない
非純正バッテリーは寿命が短く、性能も純正品に劣る
- 6 環境保全への取り組み**
バッテリーは産業廃棄物のため不燃ごみとしては廃棄できない
シュナイダーエレクトリックでは使用済みバッテリーの回収プログラムがあり、適切な廃棄とリサイクルが可能

純正バッテリーと非純正バッテリー比較表

	純正	非純正品バッテリー (互換バッテリー)
製品サポート	◎	×
バッテリー品質	◎	△ 低品質やばらつきリスク
バッテリーの安全性	◎	△ 膨張 / 液漏れ / 異常発煙などの恐れ
UPSへの影響	◎	×
UPS動作保証	◎	×
メーカー無償保証	30日	×

APCブランドUPS交換用バッテリーキット型番対応表

UPS型番	交換用バッテリー キット型番	UPS型番	交換用バッテリー キット型番
BE550M1-JP	APCRBC122J	BR550S-JP	APCRBC122J
BE750M2-JP	RBC17J	BR1000S-JP	APCRBC123J
BR400S-JP	APCRBC122J	BR1200S-JP	APCRBC124J
SMT500J	APCRBC137J	SMT1K2RJ1U	APCRBC88J
SMT750J	APCRBC137J	SMT1500RMJ2U	APCRBC133J
SMT1000J	RBC6L	SMT3000RMJ2U	APCRBC145J
SMT1500J	APCRBC139J	SRT1000XLJ	APCRBC155J
SMT2200J	RBC55J	SRT1500XLJ	APCRBC141J
SMT3000J	RBC55J	SRT2400XLJ	APCRBC152J
SMT750RMJ1U	RBC34L	SRT5KXLJ	APCRBC140J
BK750M-JP	なし(交換不可)	BE425M-JP	なし(交換不可)

上記表に掲載のないものは以下URLよりお探しく下さい
<https://www.se.com/jp/ja/faqs/FAQ000017421/>

互換バッテリーの落とし穴

UPS本体との整合性が取れていないため、セルフテストや交換通知機能が正しく動作しないことがあります。
内部構造や安全基準が異なるため、過熱・膨張・液漏れなどの安全リスクが高まります。
互換バッテリーを使用した場合、シュナイダーエレクトリックのサポートをお受けできません。

バッテリーライフサイクルガイド

購入前

- バッテリー交換時期の目安
- 内部バッテリー定期交換と耐用年数超過機器の買い替え判断 (表: バッテリーの寿命についてを参照)
- 購入方法: オンライン購入

UPS バッテリーの交換時期について

バッテリーは使用環境(周囲の温度)によって変化します。お使いの使用環境を参考に取替え時期の目安を過ぎましたら、バッテリー交換をご検討くださいませ。

電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針(電池工業会指針: SBA G0202)に基づき、以下のとおり取替え時期を定義しています。

バッテリーの寿命について

使用温度条件	既存商品 SMT/SRT/RS/ES シリーズなど
5°C-25°C	4年
30°C	2.8年
35°C	2.0年

※詳しくはこちらから
「バッテリーの定期交換について」
<https://www.se.com/jp/ja/faqs/FA53025/> をご確認くださいませ。

購入方法: オンライン購入はこちら
<https://www.se.com/jp/ja/work/support/locator/apc-online-resellers.jsp>

購入後

- 使用時**
- 定期的なセルフテスト実施 (PowerChute や Network Management Card の利用)
 - バッテリー交換予定日の把握 (一部のモデル例: SRT/SMT シリーズ)
 - 警告サインの早期発見

交換手順

- バッテリーへの交換手順

廃棄時

- リサイクルプログラムの利用手順

使用時 バッテリー容量のチェックは自動で行われています

通常 UPS は購入時の設定のままであれば 2 週間に 1 度、自動でセルフテストを実施しています。このテストでバッテリー容量が不足していると、警告メッセージでお知らせします。

設定を変更してしまった場合は、下記手順で手動テストが可能です。

【手動セルフテストの方法】
対象機種:
SMT/SMX/SRT シリーズ

本体のメニュー画面から
[Test & Diags (テスト&シンダン)] を選択
[UPS Self Test (UPS セルフテスト)] → “Yes” を選び
[Enter] ボタンを押す

【手動セルフテストの方法】
対象機種: RS/BK/ES シリーズ
*BE425M-JP を除く

PowerChute Serial Shutdown for Personal(無償)を利用
※PCSS と UPS の接続方法や設定は各マニュアルを参照ください。

診断→診断を開始する
[セルフテスト] を選択→適用
→UPS(ピーと音が鳴る)
システムステータスの
[ランタイム残り時間] に
残りのランタイム時間が表示されます
※こちらに表示された時間が短い場合は
交換バッテリーをご購入下さい



※イメージ画像

バッテリー交換の目安

バッテリーの容量は新品時を 100% とすると、約 50% を下回ると警告が表示されます。このタイミングで交換用バッテリーのご購入・交換をおすすめします。バッテリーの容量が半分になると、バックアップできる時間(ランタイム)も約半分になります。また、寿命を超えてバッテリーを使用していると、思わぬ障害を発生させることがあります。(※使用環境によって異なる)

また、一部のモデル(例: SMT シリーズ)では、「バッテリー交換予定日」が表示される機能もあります。

- 警告サインについて
- ➔ 「ピーピー」という警告音
 - ➔ 電源ランプの赤と緑の交互点灯 (ES シリーズ)
 - ➔ ディスプレイに [バッテリーアイコン] マークの表示
 - ➔ 赤いランプが点灯したら、バッテリー交換のサイン

交換手順



バッテリー交換手順一覧 (Smart-UPS, APC BK, ES, RS シリーズ) <https://www.se.com/jp/ja/faqs/FA53420/>

廃棄時



シュナイダーエレクトリックのリサイクルおよび回収プログラム

廃棄電子機器は、急増している廃棄物の一つで、効率的な回収やリサイクルが求められています。シュナイダーエレクトリックでは、環境に配慮した製品回収プログラムを提供し、製品寿命終了時の管理指示 (EoLI*) を案内しています。

EoLI* は「End of Life Instructions」の略で、EoLI(製品寿命終了指示)は、製品が使い終わったときにどうすれば良いかを示すガイドのことです。具体的には、PEP(製品環境プロフィール)に含まれる情報、たとえば製品の部品やリサイクルできる割合をもとに、リサイクルや廃棄の方法をより良くするための指示を提供します。これにより、製品を環境に優しく処理できるようになります。

使用済み製品 (UPS/ アクセサリ / 鉛蓄電池 / リチウムバッテリー / ラック / PDU など) の回収が可能になり、回収場所も 8 か所 (神奈川 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 広島 / 宮崎 / 石川 / 宮城) に増えました。(送料はお客様ご負担となります) 詳しくはこちら: <https://www.se.com/jp/ja/work/support/product-support/recycling-options.jsp>